

# 感染症についてのお知らせ



つながる  
墨田区

墨田区保健所 保健予防課 感染症係 区役所3階  
電話 03-5608-6191(直通) FAX 03-5608-6507

令和3年  
9月号

## 東京都内の感染症流行情報

感染症発生動向調査、調査対象疾患の報告数が、例年並み以下になっています。

## 感染症のお知らせ

### 腸管出血性大腸菌感染症について

#### < 腸管出血性大腸菌感染症とは >

腸管出血性大腸菌による感染症です。代表的なものにO157、O26、O111などがあります。腸管出血性大腸菌は感染力が強く、乳幼児や高齢者が感染した場合は重症化しやすいといわれています。2～9日ほどの潜伏期を経た後に、激しい腹痛を伴う下痢、続いて血便をおこします。また、約5%が溶血性尿毒症症候群や脳症などの合併症を起こすといわれています。なお、個人により感染しても発症しない場合もあります。

#### < 感染経路・予防 >

感染経路は経口感染です。菌に汚染された食品等を喫食することにより感染します。人から人への感染の場合には、患者の便や菌のついたものに触れた後、手洗いを十分にしなかった場合などに感染を起こす可能性があります。

予防のために、食事前やトイレ後に石鹸と流水による手洗いを行うことが重要です。また、菌に汚染した可能性のある場所は、アルコールを含む消毒液等を用いて、適切に消毒することが必要です。

#### < 治療法 >

水分補給に加え、下痢に対する整腸剤の使用などの対症療法が中心になります。

#### < 学校保健安全法の扱い >

学校保健安全法では第三種の感染症に指定されており、「病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで」を出席停止の期間の基準としています。なお、保育所においても学校保健安全法に準じた対応を行います。

9月24日から9月30日まで「結核予防週間」です。  
東京都の結核患者の新登録者数は全国で最も多い状況です。  
( 2020年統計 新規登録1589人/罹患率人口10万対11.3 )

## 咳が止まらない？ 微熱が続く？ それって結核かも？

### < 結核とは >

結核菌という細菌が体の中に入ることによって起こる病気です。

### < 原因と感染経路 >

咳やくしゃみをするすると飛沫(しぶき)に含まれる結核菌が空気中で飛び散り、それを他の人が吸い込むことにより「感染」します。

### < 「感染」と「発病」は違います >

「感染」とは、結核菌が免疫によって封じ込められたままで活動していない状態です。「感染した」だけの状態なら、周囲の人にうつす心配はありません。感染後6ヵ月から2年の間に発病することが多く、免疫力や体力が低下したときに発病することもあります。一生発病しない方もいます。

「発病」とは、結核菌が体内で増えて病気を引き起こした状態をいいます。発病の初期は、咳や痰の中に結核菌が出ませんが、結核の進行に伴い、咳や痰の中に結核菌が排菌され、排菌量が増えると他の人にも感染させるようになります。

### < 症状 >

初期の症状は風邪と似ていますが、咳、痰、発熱(微熱)などの症状が長く続くのが特徴です。

また、体重が減る、食欲がない、寝汗をかく、などの症状もあります。さらにひどくなると、だるさや息切れ、血の混じった痰などが出始め、喀血や呼吸困難に陥って死に至ることもあります。そのため、早期発見・早期治療が重要です。

### < 治療 >

排菌の有無や体調に合わせ、入院または通院で治療します。治療は一般的に抗結核薬を6ヶ月から9か月間服薬することです。

### < 予防のポイント >

予防接種を受けましょう

乳幼児が感染した場合の重症化予防を目的にBCGの予防接種を行います。BCGは生後1歳に至るまでの間に接種します。標準的な接種期間は生後5か月から8か月です。

定期健診を受けましょう

成人の方については、結核に限らず様々な疾患の早期発見のために**胸部エックス線検査**を1年に1回程度受けておくことが大切です。

2週間以上、咳や痰、微熱が続くようなら早めに医療機関を受診しましょう。

このお知らせは、東京都感染症情報センター( <http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/> ) の情報及び東京都健康安全研究センターが集計を行った「東京都感染症発生動向調査週報」( <http://survey.tokyo-eiken.go.jp/epidinfo/> ) を基に作成しています。